

ふるさととくぢ



3月8日とくぢ石風呂祭りが開催されました!



目次

- 里山だより・歴史と民俗…2P
- とくぢで輝く・見てえーね聞いてえーね来てえーね…3P
- 行政だより…4P
- 行事カレンダー・地域拠点だより…5P
- ふるさと再発見・くらしのレシピ…6P



(2015年3月末現在)





虫ドルさんが やって来た!

虫大好きなアイドルタレント、カブトムシゆかりさんが、2月25日(水)国立青少年自然の家、26日(木)には八坂小学校などにやってきました。子どもたちとクイズや生きたヘラクレスカブト虫を見たりして楽しい時間を過ごしました。

(取材：池田特派員)



八坂小学校でクイズ



ぬいぐるみとヘラクレスカブト、どっちが好きかな

石風呂に徳地和紙と 人形浄瑠璃で...

3月8日(日)、とくち石風呂まつりが開催されました。徳地各地の石風呂体験や徳地和紙結の香のオープニングイベント、さらに人形浄瑠璃保存会の上演があり陽春の温かさの中、一日中賑いました。皆さんの力が地域おこしの一環につながりましたでしょうか。

(取材：池田特派員)



防府市大道人形浄瑠璃の皆さん



結の香オープニング・イベント

表紙の写真から



徳地の石風呂といえば「岸見の石風呂」が有名ですが、3月8日に行われた「とくち石風呂祭り」では二宮の石風呂に多くの観光客が訪れました。観光客の中には外国の人々も多くいて、初めての石風呂体験に感動した様子でした。また、カニ汁や炭火で焼いたかき餅なども無料で振る舞われました。

(取材：栗屋特派員)

所在地 徳地三谷字国木
上ヶ原
国道四八九号三谷川橋から
国道二六号に入り、野々
井を過ぎ、山が出っ張り、
道が急曲りとなり、三谷川
と出会う、山から谷水が流
れ落ちる所に安置されてい
る。

「延命地藏教」によると、「亦是菩薩得十種福。一者女人秦産、二者身根具足、三者衆病悉除、四者寿命長遠、五者聰明、明智慧、六者財産盈溢、七者衆人愛敬、八者穀米成熟、九者明神加護、十者大菩薩証」
これには十種の福があるという。

① 右脚を蹴踏(かふ)し、左脚を垂れた姿
② 左脚を垂れ、右手に錫杖を持つ
③ 左脚を垂れ、右足片膝を立て、その上に肘を立てて、手は頬をささえている等がある。



【路傍の信仰 十四】



全景写真



延命地藏尊

舟形半跏思惟像の延命地藏である。
地藏尊は左脚を垂れ、右足片膝を立て、その上に肘を立てて手は頬をささえている。
左手は宝珠を持った姿形である。
像高 六八センチ
最大幅 三三センチ
台座 三〇センチ
台座正面に「三界万靈」左に、天保四癸巳八月右に、組中建立と刻されている。
また側には、像高四五センチの舟形合掌地藏尊。コンクリートで作った囲いの中に御大師さまが祀られている。

参考文献

日本石仏辞典

編著 河野 正

とちで輝く

小さな蔵の『我が娘』が熱い。

新谷酒造株式会社代表取締役 杜氏
新谷義直さん (46)



■「100%」純米吟醸無濾過生原酒

この蔵でできるお酒「わかむすめ」は「100%」純米吟醸無濾過生原酒です。こんな酒蔵は他にないとのこと。ここまで徹底したのは、いずれこの肩書などなくしてしまっても信頼される銘柄にしたい思いからです。このすっきりした味わいに合う料理を探すのも楽しみです。

■祖父から引き継いだ経営を新たに

生まれは兵庫県、祖父の経営する新谷酒造に入社したの



が21歳の時だそう。平成19年に四季醸造蔵へ改装し、『日本酒の持つ可能性を明らかにし、お客様と共に、新しい日本酒造りの楽しさ、感動を分かち合うこと』を使命に掲げて取り組み、今多くのメディアが取り上げるナイスガイです。

■新しい日本酒造りの一環として

最近の新聞やテレビでも紹介されたイタリア米で日本酒を作るといふ挑戦にも協力しています。イタリア北西部のピエモンテ州(州都：トリノ)で衰退気味の繊維産業に代わる新しい特産品を目指した協力依頼が舞い込んだからです。家族二人で仕込みを行う規模がイタリアのモデルケースになり、技術力も高いというのがその理由です。

た。会社の使命に沿った取り組みですね。

■酒蔵とお店を便利な隣接地へ

現在、徳地で「わかむすめ」が購入できるのは、堀にある本店だけ。昔は、一番のメイン通りにあったこのお店も、旧防石鉄道跡地が舗装整備され、車や人の流れが大きく変わってしまったこと、酒蔵と販売店の場所が大きく異なるのはお客様にはわかりにくいことから、遠い将来的には酒蔵に隣接した場所に販売店を移すことも考えているとのことでした。小古祖の「市」に酒蔵とお店の町並みが来る日も・・・。

(取材：徳地づくり達人塾、池田特派員)



小古祖にある酒蔵

見えてえーね
聞いてえーね
来てえーね

5月5日はお薬師様の縁日

■新コーナーが始まります
今月から、徳地の行事等を開催される前に紹介させていただきます

■5月5日は、上村月輪寺薬師大縁日

今年も近づいてきましたね。縁日は「仏様と縁をつなぐ日」と話す今年傘寿を迎える中村棟俊住職は発想が豊かでお話上手です。

5年目を迎える重源御輿行道は、午後1時半にホラ貝を先頭に虚無僧が尺八を吹き、重源上人の像を載せた花御輿が行道します。参詣者が続き薬師堂を2周し、最後に徳地和紙で作成した面をかぶった仏様との握手会が行われます。仏様と握手

■登竜門を越えて始まる行道
薬師堂の山門は清涼閣の銘があり、重源上人の移転再建を感じさせます。そこに立身出世の関門である登竜門の看板が掲げられ、行列が始まります。昨年、阿吽の仁王像が設置され、ますます厳粛な風情を醸し出しています。

(取材：徳地づくり達人塾、池田特派員)



昨年の様子

行政犬より

「山口市誕生 10 周年記念事業」 「やまぐちサッカー交流広場 5 周年記念事業」

開催日時 平成 27 年 5 月 3 日 (日)
会場 やまぐちサッカー交流広場
主催 山口市・NPO 法人八坂地区むらづくり協議会
後援 一般社団法人山口県サッカー協会・国立山口徳地
青少年自然の家・徳地地域づくり協議会・八坂
地域づくり協議会

<イベント日程・内容>

9 時 30 分～

◇シニアの試合 (40 分ゲーム)

山口 60 雀チーム 対 カバジェロス岩国 60 チーム

10 時 30 分～

◇少年の試合 (40 分ゲーム)

徳地サッカースポーツ少年団 対 鑄銭司サッカースポーツ少年団

11 時 30 分～

◇記念式典

12 時 20 分～

◇レノファ山口 FC の選手によるサッカー教室

【一般公募のお知らせ】

4 月 28 日までにやまぐちサッカー交流広場にご連絡下さい。
(小学生)

13 時 00 分～

◇第 2 種委員会 高校生の試合 (80 分ゲーム)

山口高等学校 対 慶進高等学校

14 時 30 分～

◇もちまき (子どもの部・大人の部)

14 時 50 分

◇閉会

★交流広場 10 時～ 14 時 30 分

- (1) 特産品販売 (とく徳なべ 2015)
- (2) バザー
- (3) 各種ゲーム (シュートゲーム)
- (4) レノファ山口 FC 販売ブース 国少ブース

問合せ先 やまぐちサッカー交流広場
☎ 56-0888

第 11 回 さわかウォーキング in 串

棚田のある鯖方面へ歩きます

開催日 4 月 29 日 (祝・水)
受付 9:40～10:00
集合場所 徳地地域交流センター串分館
参加料 大人 500 円 3 歳以上小学生以下 300 円
その他 昼食は炊き込みご飯と豚汁を用意します

申込先・問合せ先 串分館
☎ 54-0222

平成 26 年度 山口市徳地 女性団体連絡協議会研修会

『女団連のつどい』

3 月 16 日 (月)、徳地山村開発センターで開催された「徳地女性団体連絡協議会研修会」が、今年度末をもって解散することとなりました。

済生会山口地域ケアセンター看護師長の赤川ひろ美さんによる「認知症の理解と予防について」の講話や、4 つの女性団体グループの活動発表があり、和やかな雰囲気の中、長い歴史にピリオドが打たれました。

(取材：岡崎特派員)



行事カレンダー

(4月15日～5月15日)

4月

- 15 **認知症者を支える家族の会**
水 (問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
- 16 **1歳6か月児・3歳児健康診査**
木 (問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
- 19 **第27回大原湖さくらロードレース大会**
日 (問) 大原湖さくらロードレース大会実行委員会事務局 ☎52-0217
- 21 **憩いステーションとくち**
火 (問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
- 26 **出雲地区ラジオ体操ウォーキング**
日 (問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217

5月

- 5 **歩こう大会 in 三谷**
火 (問) 八坂分館 ☎56-0301
- 7 **定例健康相談・介護予防相談**
木 (問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
- 10 **森カフェ～徳地の春の森びらき～**
日 (問) 森の案内人の会事務局 (徳地農林振興事務所内) ☎52-1122
- 13 **母子健康相談**
水 (問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114

子育て支援センター
すくすくハウス予定 ☎52-0662

4月 / 2・3・16・17・21・23・24・28・30
5月 / 1・8・12・14・15

休

図書館 4月 / 20・23・27・29
休館日 5月 / 3・4・6・7・11

+ 休日・夜間診療のご案内 (防府市内)

- * 山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。
【内科・小児科】 (受付 8:30～11:30、13:00～16:30)
 防府市休日診療所 (鞠生町) ☎0835-24-4172
【歯科】 (受付 8:30～11:30)
 防府市休日診療所 (鞠生町) ☎0835-24-4172
【外科】 当番医療機関 (診療 9:00～17:00)
 4月 19日 (日) 緑町三祐病院 (緑町) ☎22-3145
 26日 (日) 桑陽病院 (車塚町) ☎23-1781
 29日 (水) 森下外科・整形外科医院 (中西) ☎24-0500
 5月 3日 (日) 緑町三祐病院 (緑町) ☎22-3145
 4日 (月) 三田尻病院 (お茶屋町) ☎22-1110
 5日 (火) 松本外科病院 (天神) ☎22-1409
 6日 (水) うちみち脳神経クリニック (石が口) ☎27-5880
 10日 (日) 寿町クリニック (寿町) ☎27-5577

【夜間救急病院】 (平日、土日にかかわらず)

病院名(場所)	電話番号	4月・5月の開設日						
松本外科病院(天神) ☎22-1409		15	20	25	30	5	10	15
防府胃腸病院(駅南町) ☎22-3339		16	21	26	1	6	11	
桑陽病院(車塚町) ☎23-1781		17	22	27	2	7	12	
緑町三祐病院(緑町) ☎22-3145		18	23	28	3	8	13	
三田尻病院(お茶屋町) ☎22-1110		19	24	29	4	9	14	

地域拠点だより

「音一座 中村社中 薫童子」 スペシャルライブ



3月15日(日) 山口市主催で徳地文化ホール自主事業として、「音一座 中村社中 薫童子」によるスペシャルライブ徳地公演が開催されました。

当日は、30人の出演者により2時間にも及ぶ演奏でした。

出演者の中には、徳地中学校で行われている徳地教室のメンバー5人も含まれていました。

特大の太鼓から小さい太鼓まで、自由自在にあやつり素晴らしい演奏で、ステージを盛り上げられました。



毎年、フェスティバルで演奏していただいておりますが、はるかにスケールが大きく、多くの入場者は音の大きさと、ばちさばきの速さに、とても感激されていました。

徳地教室では、練習生を募集しています。太鼓に興味がある方は是非練習を覗いてみてください。

PickUP

徳地ソフトバレーボール大会開催

日 時 5月10日(日) 8:30～受付

場 所 徳地体育館

参加資格 ソフトバレーボール愛好者

チーム編成 1チーム4人以上

参加料 2,000円

申込締切り 5月1日(金) 17:00

問合せ・申込先 徳地地域交流センター ☎52-0217

または ☎090-3372-2005 (森山)

くらしの しじい

ふるさと再発見 ～幕末維新と徳地～

奇兵隊の徳地転陣

フキのすき煮



材料 (4人分)

牛こま切れ肉	300g
フキ	5～6本
玉ねぎ	1個
焼き豆腐	1丁
A 醤油	大さじ 5
酒、砂糖	各大さじ 3
水	1・1/2 cup
B 片栗粉	小さじ 2
水	大さじ 1・1/2
サラダ油	大さじ 1
塩	適量

作り方

- ① フキは、塩をふって板ずりをし、3～4分ゆでて冷水に取り皮をむき、2～3センチに切る。
- ② 玉ネギは厚めの千切りに、焼き豆腐は一口大に切る。
- ③ フライパンにサラダ油を熱し、中火で牛肉をさっと炒めて取り出す。
- ④ ③に玉ネギを入れ、しんなりするまで炒め、Aを加えて煮立てる。焼き豆腐とふきを加え、弱火で約3分煮る。
- ⑤ ④をご飯の上ののせた後、残った煮汁にBを加え、弱火にかけ、とろみがでたら全体にかける。

※フキの時期が終わったら、ゴボウを代わりに使ってみてください。

一口メモ

春の味を楽しみましょう！

今回は、徳地にとって幕末の大事件、「奇兵隊」の徳地転陣について話しましょう。

前回書いた下関戦争での大敗は、長州藩を大きく揺るがしました。それは攘(じょう)夷(い)(外国を討つ)の無意味さを知らされたことと支配階級である武士のふがいない戦闘の姿を見せつけられたことでした。そんな中、高杉晋作は当時の身分制にとられないまったく新しい戦闘部隊を考えていくのです。それが「奇兵隊」(「諸隊」ともいいました。)です。

しかし、この元治元年(1864年)は、長州藩にとって内に外にと苦境の年でした。

内には外国艦隊に負けて巨額の補償を求められ、外(京都)には池田屋事件や蛤(はまぐり)御(ご)門(もん)の変(御所に発砲した事件)が起こりました。その結果、朝廷は幕府に対して長州を討(う)つよう命じてくるのです。当然ですが、藩内では事件や対応を巡って激しい対立が起こりました。俗論派(保守)、正義派(革新)と呼ばれる権力争いがそれです。やがてその争いは、静かなここ徳地を激しい渦に巻き込んでいきました。椋梨藤太は正義派を厳しく弾圧し、奇兵隊を含む諸隊に解散を命じます。これが「諸隊解散命令」です。「正義派が消える!」周布政之助や家老の清水清太郎は危機感を募らせ、三田尻の警備に着いていた奇兵隊を徳地に転陣させていくのです。この時、諸隊が21ありましたが、奇兵隊と膺懲(ようちやう)隊の2隊(200名～250名)のみが解散命令を蹴って、この年の10月20日に徳地へ転陣して武装配置を決めました。隊士の合い言葉は「徳地の甲(とむら)い合戦」だったといえます。

じんやわり
陣屋割 堀村 小古祖 深谷 本陣 正慶院(小古祖)、第一銃隊 澄月院(才谷)、弓隊・第二銃隊 多念寺(小古祖)、第三銃隊 金徳寺(庄方)、槍隊 妙楽寺(深谷)、こう煩(=大砲)隊 妙蓮寺(旭)、狙撃隊 宝徳寺(須路)
()内は現在地



小古祖 正慶院 (本陣)



庄方 金徳寺 (第三銃隊)

斜字は奇兵隊日誌。俗論派と幕府軍に対(たい)峙(じ)するため、堀の全域が戦闘体制に入っています。徳地への転陣は、高杉晋作が功山寺で挙兵するわずか2か月前のでき事でした。

(徳地幕末維新歴史放談の会 代表 山田 文雄)

発行 徳地地域づくり協議会

〒747-0231 山口市徳地堀 1533 番地 ☎0835-52-0217

[HP] <http://tokujichiiki.com> [e-mail] tokuji@tokujichiiki.com

企画編集 徳地づくり達人塾

[HP] <http://tokudzukuri.soreccha.jp/>

(印刷 株式会社ティーピーエス)